

学振特別研究員の申請に向けて

2025 年 5 月の申請に向けて初めの一步！



大学院生、ポスdok研究員の皆さん！

日本学術振興会の特別研究員制度とは、博士課程以上の若手研究者が自由な発想のもと主体的に研究に専念できるよう、生活費として使用できる**研究奨励金**（2024年度/R6支給額：DC月額20万円・PD月額36.2万円）に加え、研究のために必要な**研究費**も十分に支給される制度です。

文学部でも、これまでに多くの大学院生・ポスdok（博士研究員）が特別研究員に採択され、研究活動に取り組んできています。

今回のセミナーでは、特別研究員DCに内定した方と現在、特別研究員PDとして研究を行っている方に、**申請に向けての心構えや申請準備のポイント**について、ご自身の経験を踏まえながらお話しいたします。また審査員経験や申請書作成指導の経験豊かな教員からのコメントもあります。

学振特別研究員やDC、PDといった言葉を初めて聞いた方や既に申請を検討している方はもちろん、“研究者”という将来のキャリアパスについて考えたい方は、是非ふるってご参加ください。

実際の申請書作成はまだまだ先でも、大学院進学を考える研究生や学部生もお気軽にご参加ください。

話題提供者

R6・DC1 相馬 ゆめ さん（行動科学研究室）

「学振DCへの申請に向けた道筋と心構え」

R4・DC1 豊岡 正庸 さん（哲学倫理学研究室）

「経験から学んだ学振DC申請の際の有益な情報」

R4・PD 間枝 遼太郎さん（日本古典文化論研究室）

「学振PDの申請に向けて」

教員コメント

今村 信隆（芸術学研究室・准教授）

瀧本 彩加（行動科学研究室・准教授）

笹岡 正俊（地域科学研究室・教授）

司会・全体総括

林寺 正俊（宗教学インド哲学研究室 教授／研究推進委員会 研究支援専門部会長）



2025

1/10(金)

18:15 - 19:45

オンライン
(ZOOM)
開催

【要事前申込】

締切：1/8(水) 正午

<https://forms.gle/UhQfJvCxxxqwTHdS8>

お申し込みはこちらから！

